

Q3. バスターミナルのなかで、改善が必要だと感じた点はありませんか。できれば具体的にお書きください。

現在の市バスターミナルは、CUD の点でかなり良くできていると思います。 差し迫って改善が必要だと思う点はありません。

①市バス路線案内(添付画像①)

下記の理由で工夫してあると思いました

- ・隣り合った路線は、ほぼ違いが分かる色を使用してある
- ・路線が交差する場所は、誤解しないように工夫してある
- ・系統番号が路線図の近くに書いてある

②各所にある案内図の「現在地」は赤。

色弱者には赤が目立たないが、探せばわかるので重大な問題ではない。

これを青や黄にするのは、C型の人には目立たなくなるはずだから、このままで良い。

③消火栓の赤ランプ（従来の飛び出たランプではなく、LED なのか平板の赤ランプ）

光っているようには見えない。

光っているように見えたとしても、それがどれほど目立つかは分からないので、今のままで構わない。

④トイレ看板

ある程度離れて見ると、女子・男子・車いすの看板が、全部同じ色に見える。(添付画像②)

これは、白抜きで図柄で分かるので問題ない。

青がもっと明るいと、遠目でも男子を区別しやすい。

しかし、市バスターミナル全体を青で統一してあったので、それとの兼ね合いからの色と思われる。

- ・全般的に青で統一されたスッキリとして分かりやすいデザインでした。色が原因で文字が読めない、図が理解できないものは、ほとんどなく、直ぐに改善が必要だと感じた点はありませんでした。

- ・改善をしていただくと、更に利用しやすくなると感じた点

1. 「市バスのりば案内」パネルと、各のりばに設置された「時刻表」パネルに掲載の「ご乗車案内？」文の色について
黒文字と赤文字が混在しているので見分けにくいです。更に背景色を黄色にした赤文字は、色相、明度の差が少なく読みづらいです。背景色の色を無くし、赤文字をオレンジに変更し、強調箇所にオレンジ色の太線を引くなどの工夫があればよいと思います。
2. のりば番号を表示するデザインについて
パネルの種類により、四角形の青の中に白の番号、薄い地色に青の番号、白地に黒の番号の3パターンがあり分かりづらいです。同じものは同じデザインで統一すると分かりやすいです。一番分かりやすい四角形の青の中に白の番号で統一する工夫があればよいと思います。
3. 各のりばの上部に設置された液晶パネルについて
路線系統の色表示が枠線だけで面積が少ないです。このため、同じグループのD型の人には色情報には頼らず、文字情報優先で識別していることを確認しました。色の面積が大きいほど識別しやすいので、面積を広げる工夫があればよいと思います。
4. 「市バス路線案内」パネルについて
路線が多いので路線の色数も多いです。線の中と、路線番号表示に、色名が書かれていて分かりやすいですが、文字が小さく、見にくいです。見やすい色名表示はコミュニケーションを円滑にします。色名の文字の大きさを大きくする、線の色と文字の色の明度にコントラストをつける工夫があればよいと思います。また、路線の違いを色だけでなく、路線によって駅を表す形状を変える、路線そのものの形状(模様)を変えるなどの工夫があればよいと思います。
5. 「時刻表」について
 - ・土曜欄と日曜・祝日欄の背景色は、水色と青みのピンクですが、もともとP型・D型の人には見分けにくい配色です。水色とピンクの配色にする場合は、見分けやすい黄み寄りのピンクにする工夫があればよいと思います。
 - ・時刻表は、時刻表一覧と、各のりばにもありますが、一覧表の色が濃すぎて各のりばの色と一致せず違和感があります。パネルの素材が違っても色を統一する工夫があればよいと思います。
 - ・各のりばの時刻表に、系統番号の色表示と色名を付加し、のりば上部の液晶パネルと一致させやすくする工夫があればよいと思います。
6. ターミナル内の案内地図パネルについて
 - ・現在地の背景色の赤、AEDの背景色の赤、禁止表記文字の赤は、P型・D型の人にはC型の人ほど目立ちません。P型・D

型の人にも目立ちやすい、C 型の人にも赤と認識できる程度の朱赤にする工夫があればよいと思います。 ・トイレマークの男・女・車イスの色の違いは、照度が少ない設置場所や、少し離れた位置から見ると、C 型でも鮮明ではありませんでした。案内図は複雑なので、大きめの板で、照度を確保する工夫があればよいと思います。 ・凡例は、一箇所に固めて全て掲載した方がよいのではないのでしょうか？凡例を見てどんな設備があるのかを調べる人もいます。AED の凡例がないパネルもありました。AED マークは小さくて目立ちません。AED マークとの境界に白線を付加して目立ちやすくする工夫があればよいと思います。
・緊急性にかかわる大事なマーク（AED やトイレ）の表示が、C 型向けに感じました。特に AED は表示自体が小さく、赤い色に頼っているように感じました。緊急性を持って探す可能性があるマークは、どの色覚特性の方もわかるようにしておく必要があるのではと思います。 ・消火栓のランプが消えているように見えるのは、前述の緊急性という意味でも改善の必要があると考えます。旧タイプのほうが見やすいとの声を届けたいです。 ・のりばの番号のマーク（四角の中に数字）の表現統一を望みます。のりばと系統の表現が似ている（のりばは青の四角、系統は白の四角）うえ、地図上ののりばは四角の数字でないところです。
青を基調にしたサイン表示はとても清潔感があり、視認性が良いと感じた。色の氾濫を抑えている点も良い印象を与える理由の一つになっている。 1. それだけに各乗り場に掲示されている時刻表の配色で、土曜日と日曜日との色分けに見えづらさがあったことは残念である。今回改善点として提案したい点の一つはこの配色のあり方。 2. 市バスのりば案内看板内にある「のりば番号」の表示形式について、一覧表の中では「青い地色の正方形の中に白抜き文字で番号数字」で表示されていて大変分かりやすいが、案内図の中にある「のりば番号」が「黒色で数字のみ」の状態で表示されているため、一覧表と案内図との関連性が直感的に繋がりがづらい。同じものを表している場合は、表示形式も統一すべきである。もちろんこの場合、「青い地色の正方形の中に白抜き文字で番号数字」に統一すべきである。
パネルの素材（紙、プラスチック）の違いによって色の誤差が出ている可能性あり。点字パネルが共存しているが、多くの人が見るため敢えて別パネルにしても良いのでは。
①デジタルサイネージ（電子掲示板、観光マップ）の設置場所が KITTE 側にも欲しい。 ②AED 設置のサインがない。 ※色づかいなどは他の人から指摘があると思うのでとりあえず上記 2 つ。
点字が付けられたバス乗り場の案内パネルについての感想。 案内パネルから聞こえるアナウンスが『これは触知案内板です』が『これは食事案内板です』？。そして『これは触字案内板です』（点字を見て連想）そしてやつと、言葉『触知』と理解する。一般人にもよくわかるようにパネルの上部に朱書きにてアナウンスが『何を知らせているか』と書くといいと思います。
降車場の『立ち入り禁止』の表示が大きく、バスターミナル全体のバランスを崩しているように思います。 JR 桜通り口に近い、12 番乗り場付近にも、市バス路線案内があればと思います。 *バスターミナルから KITTE へ出る扉の『KITTE』のロゴが、赤と緑で私には遠くから見ると黒にしか見えませんでした。

Q.4 ツアーの内容全般について、また今後の企画について、ご意見・ご質問・ご要望などを自由にお書きください。今後の参考にいたします。

・しっかり考えられたツアーで、大変良かった。 ・自分の CUD の評価基準がしっかりしていないので、そのときの気分や考えで、評価が変わってしまう。さらに、「この 2 色は、分からない」と発言した場合でも、それを聞いた人が、3 点と思うか 1 点と思うかで、まったく印象が違ってくる。今後は「CUD 検証 6 段階色差評価 説明資料」を頭に入れて、慎重に発言したい。
・参加状況 P 型・D 型の方と C 型の方がほぼ半数ずつ、13 名の方に参加いただけた盛況な会員活動となり、何よりでした。 ・チェックの仕方について P 型・D 型の方が「見分けられます。」と言っても、C 型と比べてどの程度なのか、検証評価数値のどれに該当するかを判断していただく余裕がありませんでした。バリエーションを掛けて見た時も同様でした。チェックの精度を高めることは今後の課題です。

・ ツアー時間とチェック対象について 時間内ではチェック対象が多すぎたと思いました。個々の案内パネルの情報も多かったのでチェックに時間がかかりました。タッチパネルのチェック時間はわずかしこ取れませんでした。ターミナル全体の分かりやすさはどうか？表示の統一感はどうか？照明条件による見えやすさはどうか？など現地チェックは、予想以上に複雑になる事がわかりました。施設チェックでは、色覚や CUD の専門知識だけでなく、素材の違い、施設規制、等々に関する知識も必要で、そうしたことに精通した方たちの参加があると総合的なチェックができると感じました。 ・ 「街の CUD チェックツアー」は、今後も開催したいと思います。その場合、現地の下見を十分にし、時間内でチェックする対象を明確にし、当日の記録をしやすくするなどの準備が必要だと思います。 ・ 「アンケート」の項目に、「チェック対象全般の CUD 満足度」を問う項目や「一番分かりやすく良かった点はどこですか。」などの項目を入れてみたらどうでしょうか？チェック結果のまとめの参考になるような気がします。
・ 違いを表現するには、色と形ともに変化をつける必要があるのだということを痛感しました。一緒に P 型、D 型の方々と一緒にできどんな見え方をしているのかを直接聞くことができ本当に良かったです。同じタイプの方でも違う見え方をしていたことに驚き、同じ C 型でも見え方が違うのかも、、、と感えてきました。今回参加させて頂き、本当にありがとうございました。
・ 世話人側の人手不足を感じた。(黄色バッジのグループの場合) リーダーが質問を投げかけ、その反応や意見もリーダー自身が書き取る、つまり議長と書記を一人でこなさねばならず、仕事が煩雑になりかねない。本来私がサポートすべきだったが、できれば専任の記録係を用意したい。私は写真による記録に専念できたことで資料として使用出来る写真を残すことができた。 ・ CUD チェックツアー第2弾の折には今回の蓄積をもとにして、現場での書き込みが簡単・迅速にできるようなチェックシートのフォーマット化と、質問者(リーダー)、書記、写真係、ビデオ係、をそれぞれ独立させるため、常連の参加者の中からも広くスタッフとしての協力を仰ぐようにすべきと感じた。
2 チームに分かれていたが、意見の違いはあったのでしょうか？海外の案内板等、色使いを参考にすることは可能でしょうか？過去に弱視者からのクレーム等はあるのでしょうか？
多くの人々をあれだけ招集されるバイタリティーには頭が下がります。MUD 関係者という事ではないですが、意外に文字が見づらいという声も聞け、あらためて CUD と MUD のコラボは必須と感じた次第です。
当会の取り組みとして公共性のある案内表示板を主として活動対象となります。今後は高齢者も視野に入れた社会生活での表示板に対して、色の配色、デザインの中での事前配色の配慮が考えられと思います。
WG の学習会があれば、参加させてください。
色の見え方の異なる方々と同じ表示を見て、見え方の違いについて意見交換できる機会は珍しく、有意義な時間を過ごすことができた。案内図の色づかいは今一つかもしれないが、地理的予備知識があったため、特に不自由には感じなかった。